



PORSCHE



ニューカイエン

プレスキット

目次

複合燃費と排出量	3
ハイライト	
さらに優れた多用途性と充実したネットワーク	4
ニューポルシェ カイエンの概要	
性能と快適性を強化したスポーティなオールラウンダー	6
エンジン、トランスミッション、および4WD	
強化された性能、高速のシフト： ゼロから開発された新しいドライブトレイン	8
ニューポルシェ カイエンのシャシー	
性能と快適性の間の最適なバランス	12
デザインとボディ	
スポーツカーのDNAを備えた軽量設計	16
人間工学と快適性	
快適性とドライビングプレジャーを高めるためのさらなるスペース	20
インフォテイメントとコネクティビティ	
あなた個人のカイエン	23
アシスタンスシステム	
総合的なシステムが快適性と安全性を向上	28

複合燃費と排出量¹⁾

カイエン:燃料消費量 11.3–11.1リッター/100 km(市街地)8.0–7.9リッター/100 km
(郊外)、9.2–9.0リッター/100 km(複合)、CO₂排出量 209–205 g/km

カイエンS:燃料消費量11.8–11.3リッター/100 km(市街地)、8.4–8.0リッター/100 km
(郊外)、9.4–9.2リッター/100 km(複合)、CO₂排出量 213–209 g/km

カイエン ターボ:燃料消費量16.4–16.2リッター/100 km(市街地)、9.5–9.3リッター/100 km
(郊外)、11.9–11.7リッター/100 km(複合)、CO₂排出量 272–267 g/km

¹⁾ 使用タイヤによって異なります。

ハイライト

さらに優れた多用途性と充実したネットワーク

1. ニューカイエン

ポルシェは、2002年に初代カイエンを公開して以来、770,000台以上のカイエン モデルを販売してきました。完全に新設計された第3世代カイエンは、この成功物語を受け継ぐことになります。

2. さらになるオールラウンダー

新世代カイエンは、スポーツカーのダイナミクスとツーリングカーの快適性の間の優れたバランスとともに抜群のオフロード性能を提供します。

3. 日常走行のための利便性の向上

ニューカイエンは、5名とその荷物のためにさらに大きなスペースを提供します。リアベンチシートは、必要に応じて移動することができ、ラゲッジコンパートメントの容量を100リッター拡大することができます。

4. インテリジェントな軽量設計

アルミニウムとスチールのインテリジェントな組み合わせによる革新的な軽量ボディは、広範な標準装備にもかかわらず65kg軽量化されています。

5. パワフルなターボエンジン

新世代カイエンは、標準装備される新しい8速ティプトロニックSとの組み合わせで、最高出力250kW(340PS)、324kW(440PS)、または404kW(550PS)を発生するV6およびV8の新型ガソリンエンジンを搭載します。

6. 革新的なシャシーシステム

911同様のミックスタイヤとリアアクスルステアリング、3チャンバーエアサスペンション、および電気機械式ロール安定化システムがスポーツ性と快適性を高めます。

7. 改善された制動

タングステンカーバイドによってコーティングされた新開発のポルシェ サーフェス コーテッド・ブレーキ (PSCB) は、応答性を改善して耐用年数を延ばします。

8. アダプティブエアロダイナミクス

カイエン ターボは、性能を高めて制動距離を短縮するアダプティブルーフスポイラーとエアブレーキを備えた世界初のSUVです。

9. 広範なアシスタンスシステム

革新的なポルシェ イノドライブ、ストップ&ゴー機能を備えたアダプティブクルーズコントロール、レーンキープアシスト、レーンチェンジアシスト、ナイトビジョンアシストなどの新しいアシスタンスシステムが快適性と安全性を高めます。

10. 未来のコックピット。完全なネットワーク化

新しい機能、新しいサービス、そして新しいアプリが整ったポルシェ コネクトプラスによって、ポルシェは車両のネットワーク化を新たなレベルにまで引き上げます。このシステムはニューカイエンに標準装備され、統合SIMカード付LTEテレフォンモジュール、リアルタイム交通情報を含むオンラインナビゲーション、インテリジェントなオンラインボイスコントロールなどを備えます。

ニューポルシェ カイエンの概要

性能と快適性を強化したスポーティなオールラウンダー

ポルシェ カイエンはスポーティSUVそのものです。第3世代モデルは性能を大幅に改善しました。完全に再開発されたカイエンは、先代よりもさらにポルシェ スポーツカーのルーツに近づき、インテリジェントな軽量設計、パワフルなドライブ、抜群のドライビングダイナミクス、そしてスマートなドライバーアシスタンスシステムを備えます。これらの全てが、あらゆる地形における卓越したハンドリング性能、改善された快適性、そして日常走行の優れた適合性と結合されています。このモデルをベストセラーに押し上げたものは、コンセプトそのものです。2002年の発売以来のカイエンの販売台数は770,000台を超えています。

発表時のラインナップは次の3モデルで構成されます。最高出力404kW(550PS)の8気筒ツインターボエンジンとスポーツカーのドライビングダイナミクスを備えたカイエン ターボが新世代カイエンのトップモデルです。数字を挙げると、0-100km/h加速タイムは4.1秒(スポーツクロノパッケージ仕様車は3.9秒)をマークし、最高速度は286km/hに達します。324kW(440PS)の2.9リッターV6ツインターボエンジンを搭載したカイエンSは、静止状態から100km/hまで5.2秒で加速し(オプションのスポーツクロノパッケージ仕様車は4.9秒)、最高速度は265km/hです。3リッター6気筒ターボエンジンを搭載したカイエンは最高出力250kW(340PS)を発生し、0-100km/h加速タイムは6.2秒(スポーツクロノパッケージ仕様車は5.9秒)、最高速度は245km/hです。

革新的なテクノロジーによる再開発

カイエンの全ての中核コンポーネントが新開発されています。さらにパワフルで効率的なエンジンと、ドライバーの意思を加速、トラクション、およびクラス最高の性能に変換する新しい8速ティプトロニックSが組み合わされています。シャシーの全く新しい軽量設計は、スポーツカーのDNAによって、このセグメントの期待を超える優れたドライビングダイナミクスを提供します。4Dシャシーコントロール、リアアクスルステアリング、3チャンバーエアサスペンション、48Vの電気機械式ロール安定化システム、およびタンクステンカーバイドによってコーティングされたポルシェ サーフェス・コーテッド・ブレーキ(PSCB)などの新しいテクノロジーが、この性能において重要な役割を果たします。カイエン ターボも、スポーティな走行性能と安全性をさらに強化するために、アダプティブルーフスポイラーと新しいエアブレーキテクノロジーを備えたポルシェ アクティブエアロダイナミクスをこのセグメントにもたらしめます。

これらのシステムは、ハイエンドサルーンに近い水準の走行快適性を達成することによって、このモデルをいっそう際立たせます。地形に応じた5つのドライブ・シャシーモードの選択でオフロード走行もさらに容易になります。

デジタルネットワーク：ポルシェ アドバンストコックピットと新しいポルシェ コミュニケーションマネージメントシステム

この新世代によって、カイエンはドライバーと車の関係に新たな1章を設けます。ポルシェ アドバンストコックピットは、ディスプレイとコントロールエレメントをひとつの調和のとれたデザインに統合します。ポルシェ コミュニケーションマネージメントシステム (PCM) のダイレクトタッチコントロールと新しい12.3インチタッチディスプレイは、全ての車両機能のドライバーズインターフェースとしての役割を果たします。

ニューカイエンは、標準装備で完全に接続されネットワーク化されています。広範な新機能とサービスには、Amazon Music、スマートホームアプリのNest、および従来の受信とオンラインストリーミングを兼ね備えたラジオプラスが含まれます。さらに、リアルタイム交通情報を含むオンラインナビゲーション、統合SIMカード付LTEテレフォンモジュール、Bluetoothインターフェース付携帯電話用設備、インテリジェントなオンラインボイスコントロール、Wifiホットスポット、4つのUSBポート、2年間までの無料使用を含む（ドイツ国内ではサービスに応じて12–24ヵ月）Porsche Connectサービス、およびApple® CarPlayも提供します。単純化された新しいPorsche Connectアプリを介して、さまざまなデジタル機能とサービスにアクセスすることができます。

直感的な操作が可能な新しいインフォテイメントシステムは、ユーザーと車両間のさらに高まる接続性を考慮して設計されています。さらに、新しいPCMはカスタマイズが新たな水準に引き上げられており、6つまでの個人プロフィールの設定が可能です。プロフィールには、多数のインテリアの設定に加えて、ライト、ドライビングプログラム、アシスタンスシステムの好みの設定を保存することもできます。

エンジン、トランスミッション、および4WD

強化された性能、高速のシフト： ゼロから開発された新しいドライブトレイン

ニューカイエンは、パナメーラでデビューした新しい6気筒と8気筒のターボエンジンを搭載します。ポルシェはダウンサイジングコンセプトを追求してこれらのエンジンを開発しました。全てのエンジンの総排気量は縮小されているにもかかわらず出力とトルクは先代を上回ります。新世代エンジンの基本エンジン、燃焼行程、ガスサイクル、およびチャージテクノロジーの全てが、性能と燃料効率を高めるために最適化されています。例えばカイエンSの新しい6気筒エンジンは、最高出力が15kW(20PS)増加しているにもかかわらず複合燃費(NEDC)は9.2-9.4リッター/100km(スーパープラス)で、応答性もさらに改善されています。

カイエンの3リッターV6ターボエンジンは最高出力250kW(340PS)、最大トルク450N・mを発生します。カイエンSの2.9リッターV6ツインターボエンジンは最高出力324kW(440PS)、最大トルク550N・m、カイエンターボの4リッターV8ツインターボエンジンは最高出力404kW(550PS)、最大トルク770N・mを発生します。比出力は、カイエンが83PS/リッターから110PS/リッターに、カイエンSが117PS/リッターから152PS/リッターに、カイエンターボが108PS/リッターから138PS/リッターに増加した。

これによって走行性能が大幅に改善されています。カイエンの0-100km/h加速タイムは6.2秒(スポーツクロノパッケージ仕様車は5.9秒)、最高速度は245km/hです。最高速度265km/hのカイエンSは、静止状態から100km/hまで、先代を0.3秒上回る5.2秒で加速します。高速でシフトするティプトロニックSによって、スポーツクロノパッケージ仕様車はわずか4.9秒(先代の5.4秒を0.5秒短縮)をマークします。カイエンターボの0-100km/h加速タイムは、現在のカイエンターボSを上回る4.1秒(スポーツクロノパッケージ仕様車は3.9秒)、最高速度は286km/hに達します。

センターターボレイアウトを備えた6気筒および8気筒エンジン

新しいエンジンには技術的革新が満載されています。ターボチャージャーはVバンクの内側にセンターターボレイアウトで配置されています。これによってエンジンを小型化して車両内部の低位置に取り付けることが可能になり、重心も下がって横方向のダイナミクスが改善されます。また、燃焼室とターボチャージャー間の排気経路の短縮によってエンジンレスポンスが高まり、出力の上昇もより迅速になります。

す。新しい逆回転式のツインスクロールターボチャージャーは低回転域から大きなトルクを供給し、エンジンの応答速度を高めます。排気ガスは完全に分離され、各シリンダーで発生するガスが他からの影響を受けることはほぼありません。特にV8エンジンでメリットが大きく、効率性も改善されます。

革新的な生産工程と材料がエンジンの製造に使用されています。例えば8気筒エンジンのクランクケースの重量は、砂型鋳造によるコアパッケージ製造技術の使用によって6.7kg(14.6%削減)軽量化されています。コンポーネントの剛性も4ヵ所ボルト締め高強度メインベアリングカバーの使用によって向上しています。高性能マシンのライニングは、大気プラズマ溶射工程で塗布したほぼ磨耗のない鉄コーティングが施されています。

6気筒エンジンはさまざまな革新ソリューションも備えます。カイエンSの2.9リッターエンジンのエグゾーストマニホールドはシリンダーヘッドに組み込まれています。軽量化とともに、この設計によってエグゾーストマニホールドが冷却水に包まれるので、フルロード時にも燃焼行程が効率化されます。

さらなるスポーツ性と応答性：新しい8速ティプトロニックス

ポルシェは、ニューカイエンの特性に合わせて先代よりさらにスポーティで快適な走行を提供するために、8速ティプトロニックスオートマチックトランスミッションを含む新世代のドライブを開発しました。このトランスミッションは高速シフトと快適で滑らかな始動特性を兼ね備え、ギアシフト時のトラクションの中断を低減します。新しい遊星歯車装置が、先代より短い1速と長い8速を備えたワイドなギア比をもたらします。これによって初期の加速性能が改善されて快適性と燃料効率が向上します。

新しいシフトバイワイヤーテクノロジーによってマニュアルシフトゲートのシフトストロークが短くなり、シフト操作力も小さくなって操作の快適性が増えています。さらに、セレクターレバーの位置とデザインは、インフォテインメントシステムの手動操作のために理想的な接触面を提供します。

明確に差別化された新しいドライビングモードによって、トランスミッションの新しいチューニングのメリットを得ることができます。「ノーマル」モードにすると、迅速かつ滑らかにハイギアにシフトして燃料を節約します。「スポーツ」モードにすると、ティプトロニックスはスポーティな設定になり、俊敏な加速と高速のギアシフトが可能になります。オプションのスポーツクロノパッケージを装備すると、918スパイダーで初登場したステアリングホイールのモードスイッチからドライビングモードを直接選択することができます。

カイエンの全モデルは6速で最高速度に達します。7速と8速は、コースティング機能と連動して長距離走行時に最高の効率性と快適性を改善するように設計されており、エンジンの低回転時における車内の騒音も抑えます。

オートスタート/ストップ機能もさらに改善されており、信号機に近づくとエンジンを停止してコースティング走行しながら停車し、快適性を高めて燃費を低減します。スポーツまたはスポーツプラスモードにするとオートスタート/ストップ機能は自動的に解除されます。

新しいトランスミッションは他の車両をけん引する際にもメリットをもたらします。3.5トンまでのトレーラーを楽々とけん引することができます。このトランスミッションは、コンバーターのトルクの向上によって始動時や駐車操作時にも大きなトルクを伝えることができます。1速が先代より約4%短く、特に低回転域の機敏な運転が可能になり、オフロードで大きな利点をもたらします。

カイエンのために用意されたPSMスポーツ付スポーツクロノパッケージ

オプションのスポーツクロノパッケージによってニューカイエンはスポーツカーにいつそう近づきます。911同様に、ステアリングホイールのモードスイッチでドライビングモードを選択します。ノーマル、スポーツ、スポーツプラスモードに加えて「インディビジュアル モード」が備わります。このモードを使用すると、個人設定を保存し、モードスイッチを回して簡単にそれを選択することができます。スポーツプラスモードにすると、静止状態から最適な加速を得るためのパフォーマンスモードの作動、全てのシャシーシステムの性能の最適化、エアサスペンションの最低レベルの設定、およびダウンフォース改善のためのルーフスポイラーの角度調節(カイエン ターボ)が行われます。

モードスイッチ中央のスポーツレスポンススイッチによってカイエンの応答性を20秒間最高の状態に保つことができます。スイッチを押すと、追い越し操作などでエンジンとトランスミッションが最高の性能を発揮します。このモードにすると、アクセルを踏み込むと即座に応答して最適な加速が行われます。メータパネルにはスポーツレスポンス機能の残り時間がタイマー表示されます。この機能は何度でも使用することができます。スポーツレスポンス機能の作動中にもう一度スイッチを押すと機能が解除されます。

スポーツクロノパッケージには、スポーツカー同様に単独のPSMスポーツモードも含まれます。意欲的なドライバーは、安全な環境において、最高のスポーツ性能にチューニングされたポルシェ スタビリティ マネジメントシステム (PSM) によってカイエンを限界に近づけることが可能になります。このときPSMはバックグラウンドで作動を継続します。PSMスポーツモードは選択したドライビングモードに関係なく作動することができます。

カイエン全モデルのポルシェ トラクション マネジメントシステム (PTM)

ニューカイエンの全モデルに電子制御可変マルチプレートクラッチを備えた4WDシステムのポルシェ トラクション マネジメントシステム (PTM) が装備されます。このアクティブ制御による4WDは、あらゆる走行条件で適切にトルクを配分して、ドライビングダイナミクス、俊敏性、トラクション、およびオフロード性能にメリットをもたらします。システムはリアアクスルとフロントアクスル間のトルク配分を可変制御します。さらにPTMは走行条件を常にモニターし、ダイナミック走行時には最適なトルク配分とトラクションを得るためにコーナーでトルクを加減してタイヤのサイドサポートを改善します。オフロード走行時には、常に最大の推進力が得られるように4輪間のトルクを完全に可変配分します。

ニューカイエンは、先代モデルと同様の高水準のオフロード性能を提供します。オプションの3チャンバーエアサスペンションを組み合わせると、240mmの最低地上高、21度を超えるランプ角、および525mmの渡河深度を備え、過酷な地形の走行のために理想的に装備されます。PDCCロール安定化システムやPTV Plusリアディファレンシャルロックなどもオフロード走行にメリットをもたらします。PCMの専用メニューから選択可能なカイエンの新しいオフロードモードによって、オフロードの経験の浅いドライバーも、状況に応じて全てのシステムを最高に機能させることができます。

さまざまなパーツを追加するオプションのオフロードパッケージを選択すると、過酷なオフロード走行中に車両の重要なコンポーネントを保護するだけでなく、屈強で力強い外見を与えます。PCMのオフロード専用情報やダッシュボードのコンパスディスプレイもパッケージに含まれます。

ニューポルシェ カイエンのシャシー

性能と快適性の間の最適なバランス

ニューカイエンにおいて、ポルシェはSUVセグメントで比類のない多用途性を備えたシャシーを開発しました。ゼロから設計されたシャシーはスポーツ性と快適性の境界線を新たな水準に押し進めます。ドライバーは、一方ではスポーツカーに匹敵するドライビングダイナミクスを、他方ではトップセグメントのサルーン特有の走行快適性を享受することができます。リアアクスルステアリング、電気機械式ロール安定化システムのポルシェ ダイナミックシャシー コントロールシステム(PDCC)、および3チャンバーエアサスペンションなどの新しいアクティブ制御システムがこの高度な多用途性において主要な役割を果たします。これらの全てのシステムは新しい4Dシャシーコントロールによって制御されます。スポーツ志向のドライバーは、新しいミックスタイヤと、このモデルでグローバルデビューを飾るポルシェ サーフェス コーテッド・ブレーキ(PSCB)のメリットも受けます。

スポーツカーのDNAを備えた新しいアクスルコンセプト

カイエンの新しい軽量シャシーデザインには長年にわたるスポーツカーの専門技術が採用されています。先代モデルの伝統的なダブルウィッシュボーン式フロントサスペンションに代わってアルミニウム製セパレートドリンク式サスペンションが採用されています。ラバーベアリングでボディに取り付けられていた旧型シャシーのスチール製サブフレームは不要となり、代わりにアルミニウム製補助フレームがアクスル構造を強化し、統合ベアリングでエンジンをサポートします。新しいアクスルコンセプトには主に2つのメリットがあります。ひとつは広範な車載装備にもかかわらず65kgの軽量化に寄与し、ニューカイエンの総重量を2トン以下に抑えます。もうひとつはステアリングレスポンス、ステアリング精度、および直線走行などのドライビングダイナミクスを最適化します。新しいアクスルレイアウトは、ホイールの不均衡とパワートレインの影響によって発生する振動をほぼ取り除きます。

カイエンとカイエンSのリアアクスルには、軽量スチールリンクとスチールスプリングを備えたマルチリンク式サスペンションが継続して標準装備されます。アダプティブエアサスペンションとの組み合わせで、リアにアルミニウム製鍛造リンクが使用されます。ダンパーの応答性やスプリングコンフォートは、スプリングリンク上のスプリング-ダンパーの分離されたレイアウトとほぼ垂直なダンパーの配置によって改善されています。最適化された弾性動力学が俊敏性、精度、および快適性を強化します。このモデルに初めて採用されたリアアクスルステアリングは、リアアクスルを再設計した主要な要因のひとつです。

ポルシェ サーフェス コーテッド・ブレーキのワールドプレミア

ポルシェは、ニューカイエンにおいて、革新的な新しいブレーキテクノロジーのポルシェ サーフェス コーテッド・ブレーキ(PSCB)を発表します。堅固なタングステンカーバイドコーティングを施したディスクと特別に開発されたブレーキパッドとの組み合わせがこの新テクノロジーの中核です。新システムは、従来の普通鋳鉄ブレーキに比べて、約30%長い耐用年数を含む非常に優れた特性を備えます。ディスクの磨耗が大幅に緩和されるだけでなくホイールのブレーキダストの付着も低減されます。ブレーキの摩擦係数が増大して応答性も改善され、極度のストレス下でも安定したブレーキングを提供します。オプション装備されるポルシェ セラミックコンポジットブレーキ(PCCB)同様に、PSCBにはフロントに対向10ピストン式、リアに対向4ピストン式のキャリパーが使用されています。

新テクノロジーの意外な結果がコーティングしたディスクのユニークな外見です。約600kmを日常走行すると、パッドがディスクの表面をピカピカ光るまで磨きあげた鏡面仕上げが生まれます。美的効果はホワイト塗装のブレーキキャリパーによってさらに引き立てられます。PSCBはカイエン ターボに標準装備、その他のカイエン モデルにオプション装備されます。PSCBは20インチまたは21インチホイールとの組み合わせで提供されます。

初めてミックスタイヤとともに用意される大径ホイール

ニューカイエンはこれまで以上にスポーツカーです。性能への重点的な取り組みはこのモデルに初めて装着されるミックスタイヤだけでなく19-21インチの新世代大径タイヤの導入において明らかです。モデルラインを通して25mmをプラスして775mmに増大した外径は、大径の標準ホイールが快適性にネガティブな影響を与えないことを保証します。オプションで19インチホイール+255/55(フロント)、275/50(リア)タイヤから21インチホイール+285/40(フロント)、315/35(リア)タイヤまで用意されています。フロントのロープロファイルタイヤとリアの駆動輪のワイドタイヤの組み合わせは、数十年にわたってポルシェ スポーツカーで十分に試行されてきました。ミックスタイヤは、俊敏性、安定性、およびドライビングダイナミクスを強化し、大径のタイヤサイズと調整された空気圧が快適性も向上させます。

多用途性を高める新世代のアクティブコントロールシステム

ポルシェは、新しい基本のシャシーデザインをベースにしてカイエンのために新世代のアクティブシャシーシステムを開発しました。ダンパーシステムのポルシェ・アクティブサスペンション・マネージメントシステム(PASM)は唯一の例外で、新しいコンセプトに合わせて制御プログラムが調整されてい

ます。PASMは、路面状況やドライビングスタイルに応じて各ダンパーの減衰力を無段階に調節します。PCM、PASMスイッチ、またはスポーツスイッチによって、ノーマル、スポーツ、スポーツプラスの3つのプログラムを選択することができます。

リアアクスルステアリングを備えた初のカイエン

カイエンに初めてリアアクスルステアリングがオプション装備されます。この車載システムによって、ニューカイエンは高級スポーツカーのドライビングダイナミクスを備え、遅延のない操舵を行い、リアアクスルの横Gに迅速に対応します。ニューカイエンのステアリング精度はこのセグメントでは並ぶものはありません。リアアクスルステアリングは日常走行の快適性と安全性も高めます。ターニングサークルは12.1mから11.5mに短縮されています。

走行速度が80km/hを下回るとき、後輪を前輪と逆位相に操舵します。これは俊敏性とステアリング精度を大幅に改善するだけでなく駐車操作も容易にします。80km/hを超えると後輪を前輪と同位相に操舵し、例えば高速道路において高速で車線変更する際に走行安定性を改善します。後輪に適用される最大の操舵角は3°です。

より迅速なレスポンス：電気機械式ロール安定化システム

先代モデルから十分に試行されたアクティブなロール安定化システムのポルシェ ダイナミックシャシーコントロールシステム(PDCC)は、ドライビングダイナミクスと快適性を強化します。電気油圧式から電気機械式に切り替えることによってシステムはさらに改善されています。新しい48Vシステムは、フロントとリアのスタビライザーのねじり剛性をミリ秒単位で調整して車両ボディをアクティブに安定させることができます。乗員2名のときに、側方傾斜が抑制されます。2分割されたスタビライザーをピボットモーターで結合したデザインを備え、ロール角に応じてモーターは2分割されたスタビライザーの各々を反対方向に回して、車両を直立に保ちます。電気機械式システムは迅速に応答するだけでなく、コンパクトでエネルギー消費が少ないため燃費を低減します。

オフロードモードでは、PDCCは2分割されたスタビライザーを切り離して各々をアクティブに回転させます。これによって各アクスル間の動きの自由度を最大限に確保し、地面との接触を維持してオフロードの最適なトラクションを保証します。高速道路ではスタビライザーの応答効果が解消されてスプリングとホイールの動きは互いに完全に独立して減衰されます。

快適性とスポーツ性能を高めるアダプティブ3チャンバーエアサスペンション

ポルシェはカイエンのエアサスペンションのために3チャンバーシステムを開発しました。このシステムは、走行中のドライバーと乗員の快適性を高め、スポーツ走行のダイナミクスを強化してオフロードで最低地上高を増やします。新しいアダプティブエアサスペンションは、各サスペンションストラットにひとつではなく3つのエアチャンバーを使用します。これによってエアサスペンションシステムは広範囲のスプリングレートで作動することが可能になります。シャシーは、最高の快適性のために非常に低い基本スプリングレートに設定されています。激しいピッチやロールが発生するとシステムは直ちに高いスプリングレートに切り替わり安定性を改善します。

ノーマルレベルに加えて5つの車両レベルが用意されています。ローディングレベルを除き、走行条件と選択したドライビングモードに応じて車両レベルは自動的に設定されます。210km/h以上の走行速度のときにシステムが制御する「ディープ」設定以外は、自動設定でもPCMからいつでも希望のレベルに手動で設定することができます。「ディープ」設定は、高速走行時の安定性を改善して空気抵抗を抑えます。モードに応じて、走行中の最低地上高は245–162mmの間で変化します。ラゲッジコンパートメントのスイッチを押してローディングレベルを選択することもできます。このモードは停車中のみ使用可能です。カイエン ターボには新しい3チャンバーエアサスペンションが標準装備され、その他のモデルにはオプション装備されます。

全てのアクティブシャシーシステムを接続および管理するポルシェ 4Dシャシーコントロール

ポルシェ 4Dシャシーコントロールを備えたニューカイエンは、車両内の全システムをネットワーク化することが可能な集中制御システムを配置する初のモデルです。今までカイエンのシャシーシステムは互いにほぼ独立して作動し、主に独自のセンサーを使用して他のシャシーシステムの挙動に対応していました。ポルシェ 4Dシャシーコントロールの導入によってこれが根本的に変更されています。システムは3次元(前後G、横G、および垂直G)の全ての走行条件を一元的に分析します。結果から最適な車両条件の情報が計算されて、関連する全システムに供給されます。4次元がリアルタイムの情報提供です。ポルシェ 4Dシャシーコントロールは、シャシーシステムが走行条件に積極的に対応するための統合アプローチを提供します。

デザインとボディ

スポーツカーのDNAを備えた軽量設計

瞬時に識別することが可能なポルシェ カイエンの新世代は、この紛れもないアイデンティティーをさらに強化します。全く新しいのに親しみのあるエクステリアデザインは、ポルシェ ブランドのアイデンティティーを強く反映しており、クラスで最もスポーティな車としてのカイエンの野心を明確に示します。ホイールベース(2,895mm)を変更することなくエクステリアを63mm伸ばし、先代より車高を9mm下げることによって、全長4,918mm、全幅1,983mm(エクステリアミラーは除く)のボディは、カイエンのエレガントな流線形の印象を強調しています。

ニューカイエンのフロントは性能の高さを反映しています。目立つ「パワードーム」を備えた力強いボンネットが、再設計されたヘッドライトの輪郭へと続くフェンダーを強調します。LEDヘッドライトの外見は、洗練された形状に配置された立体的なライトモジュールが際立ちます。センターエアインテーク上の外側に向けられたサイドトリムは、車幅とスポーティな外見を強調します。フロントエンドはトレードマークの大型エアインテークが目立ち、カイエンとカイエンSのシルバーカラーのスラットはターボエンジンを最適に冷却します。エアインテークのエアブレードは冷却用の空気を開口部へと導きます。

カイエン ターボは、これまで以上に他のモデルから視覚的に区別されています。エクスクルーシブなフロントエンドのマットブラックとハイブロスブラックの表面を組み合わせた大型エアインテークは、圧倒的な吸気イメージを与えます。サイドエアインテークのブラックフレームがこの効果を強調します。カイエン ターボは、夜間には2列のフロントライトモジュールによって他のモデルから区別されます。

さらにダイナミックなプロポーションのサイドビュー

ホイールベースを維持しながら全長を6cm以上延長したにもかかわらず、ニューカイエンがそのコンパクトな外見を失うことはありません。実際に、新しいプロポーションによっていっそうダイナミックに見えます。先代より細長いサイドウインドウは、リアの低いルーフラインに沿ってよりシャープに後方へと傾斜します。両方のエレメントが車をさらに低く、流線形に見せます。ルーフレームの折り目のついたラインが視覚的な奥行きを付加します。リアエンドをサポートするワイドなショルダーと同様に、再設計されたリアフェンダーがカイエンのスポーツカーのDNAを強調します。

さらにスポーツカーのDNAを示すのが、径を1インチ大きくした新設計の軽合金製ホイールです。それに合わせてタイヤとホイールアーチのサイズも拡大され、カイエンの強化された性能を示します。

カイエン ターボのサイドビューは、ダークチタンハイグロスポリッシュ仕上げの21インチ カイエン ターボホイールとカラーcrest付ホイールセンターキャップ、そしてボディカラー同色塗装のホイールアーチエクステンションによって際立ちます。エクステリアミラーとドアサイドトリムもボディカラー同色塗装で仕上げられています。カイエン ターボに標準装備される革新的なポルシェ サーフェス コーテッド・ブレーキ (PSCB) のホワイトのブレーキキャリパーも視覚的ハイライトに含まれます。

トレードマークのポルシェ：ライトストリップを統合したワイドなリアエンド

ニューカイエンのリアエンドは、奥行きと幅を強調する水平ラインが備わります。テールライト間を結ぶ3パーツのライトストリップによって、新世代SUVを遠くからでもはっきりとポルシェとして識別することができます。ライトストリップ以外の高品質ガラスルックの装備には、スポーツカーを志向する立体的な“Porsche”ロゴも含まれます。新しいカラーコーディネートของ ルーフスポイラーは直線的な構成で、テアオフエッジは先代よりさらに繊細なデザインになっています。カイエン ターボには、専用のアダプティブルーフスポイラーがSUVセグメントで初めて装備されます。さらに、カイエン ターボは目立つツインターールパイプによって簡単に識別することができます。ボディカラー同色塗装のリアエプロンもターボモデルのオリジナルデザインになります。

軽量設計とアクティブエアロダイナミクス

ポルシェは、ニューカイエンのボディの設計において、スポーツカーで使用するのと同じ軽量設計を一貫して適用しました。この取り組みの背後にある主な前提が、適切な場所への適切な材料の使用です。その結果、スチール/アルミニウムハイブリッド構造によるニューカイエンのボディは軽量かつ高い剛性を兼ね備えます。マイクロ合金高張力鋼や多相鋼などの使用材料がボディシェルに非常にダイナミックなねじり剛性を付加します。圧力のかかりにくい場所には主にアルミニウムが使用されており、例えば、ルーフ、フロアパンアッセンブリー、フロントセクション、ドア、フェンダー、エンジンフード、ラゲッジコンパートメントリッドを含むアウターシェル全体がアルミニウムでできています。さらに、技術的要件を満たす場所には再生プラスチックが使用されています。ニューカイエンの約95%が再生利用可能です。

材料の巧みな使用によってボディシェルが約135kg軽量化され、一方で広範な装備の拡張が行われています。それでも、例えばカイエンSの車両重量は、先代より65kg、2002年の初代に比べると約10%にあたる225 kg軽量化されています。従来の鉛バッテリーより10kg軽量でありながら3~4倍長い耐用年数を備えた革新的なリチウムイオンポリマースターターバッテリーも軽量化に寄与しています。カイエンが5.8kg/PS、カイエンSが4.6 kg/PS、カイエンターボが3.9kg/PSのパワーウエイトレシオによって、ニューカイエンはクラスを先導します。

セグメントで世界初のアダプティブルーフスポイラーとエアブレーキを備えたカイエンターボ

ニューカイエンターボにおいて、ポルシェ・アクティブ・エアロダイナミクス(PAA)がSUVセグメントに移行されています。トップエンドモデルは、専用のアダプティブルーフスポイラーを備えたクラス初の車となります。911ターボ同様に、スポイラーがエアロダイナミクスとダウンフォースを走行条件に適合させます。初期位置では、ルーフ周囲とシームレスに連続するスポイラーが車両上部のエアフローを最適化します。160km/hの走行速度を超えると、ルーフスポイラーが6度傾いたパフォーマンス位置になり、最高速度までリアアクスルに安定した力を加えます。スポーツプラスモードに切り替えると、スポイラーが12.6度の位置に移動し、高速コーナリングのスポーティなダイナミクスのためにタイヤのロードホールディングを高めます。オプションのパノラミックルーフシステムを開いているときに160km/hの走行速度を超えると、スポイラーを19.9度の角度にして乱気流を抑えます。5つ目の位置である「エアブレーキ」は、注目に値する大きな効果を発揮します。170-270km/hの走行速度のときに急ブレーキをかけると、スポイラーが28.2度の位置まで展開します。スポイラーはエアブレーキとして機能し、リアアクスルへの圧力を増して制動中の安定性を改善します。250km/h以上でフルブレーキをかけるとき、エアブレーキは制動距離を約2m短縮します。

カイエン全モデルのアクティブクーリングエアフラップとエアカーテン

新しいエアロダイナミクスコンセプトには、カイエン全モデルのアクティブクーリングエアフラップが含まれます。このテクノロジーは必要な冷却と最適なエアロダイナミクス両立の問題を解決します。フラップは、閉めると空気抵抗を抑え、開くと冷却機能が向上します。独立制御されるアクティブフラップは、全てのクーリングエア開口部の流量を調節します。もうひとつの革新が、ホイール前方のホイールアー

チから標的を定めて空気を加速して逃がす「エアカーテン」です。これは通常ホイール周囲に発生する乱気流を低減します。フロントのサイドエアインテークには、多量のエアフローをエアインテークに送り込むためのエアブレードも装着されています。

ニューカイエンのアンダーボディはほぼ完全にカバーされています。この設計は車両下部のエアフローを改善して空力性能を最適化します。ストレートラインを描くカイエンとカイエンSの新しい固定式ルーフスポイラーはボディカラーと同色に塗装され、控えめなリテアオフエッジへと至ります。エアロダイナミクスに重要なDピラーのサイドフラップはテアオフエッジから伸びるブラックエリアに取り付けられており、ニューカイエンのエレガントで無駄のないリアデザインに溶け込みます。

人間工学と快適性

快適性とドライビングプレジャーを高めるためのさらなるスペース

最新世代カイエンは、初代のスタイリングに忠実です。あらゆるポルシェと同様に、ドライバーと乗員は、大半のSUVに見られるような車両の高位置ではなく低位置に座ります。ドライバー周囲のインテリアは人間工学に基づいて設計されており、全ての操作エレメントが容易に手の届く範囲内にあります。カイエンもポルシェ911と同様の前方にせり上がるセンターコンソールを備えます。これは、デザインエレメントを超えて、ステアリングホイールと最も重要な車両機能を人間工学的に最短で結びます。マルチファンクションステアリングホイールも同じ原理に従って設計されており卓越した人間工学と斬新な美しさを兼ね備えます。

カイエンは全般にわたって広さと快適性を改善しています。新世代カイエンには、セグメント内において通常はオプションで用意される機能が標準装備されます。例えば、パーシャルレザー仕上げのシートが全モデルに標準装備され、フロントとリアのシートセンター、シートボルスター、ヘッドレストセンターストリップがレザー仕上げになります。さらに、ステアリングホイール、セレクターレバー、ドアのアームレスト、センターコンソールにもレザー仕上げが施されます。アンビエントライトは、夜間、インテリアに心地よい雰囲気を生み出します。オプションのイオナイザーは、有害な粒子や細菌を抑えます。

スポーツカーのデザインに基づいた新しいアダプティブスポーツシート

カイエン ターボはこれまで以上にスポーツカーのものに近い新世代アダプティブスポーツシートを装備しています。トップエンドモデルのこのシートは、スポーツカー同様にヘッドレストが独立しておらずバックレストに統合されているので簡単に識別することができます。深いサイドサポートやシートセンターにユニークなステッチを備えたシートは、スポーティな外見だけでなく人間工学的にも優れています。シートヒーターが装備されており、オプションでシートベンチレーションも用意されています。アダプティブスポーツシートはカイエン ターボに標準装備、他の全モデルにオプション装備されます。このシートを選択すると、リアシートもサイドサポートを深くした同様の外見の仕上げになります。

カイエンとカイエンSに標準装備されるのは8way電動調節付コンフォートシートです。このシートは、スポーツ志向のドライバーのための頑丈なサイドサポートと長距離走行の疲れを軽減する快適性を備えます。全モデルにおいて、クラスを先導する高品質のシートにはパーシャルレザー仕上げが標準装備されており、フロントとリアのシートセンター、サイドボルスター、およびヘッドレストセンターストリップがレザー仕上げになります。

可変ラゲッジコンパートメントを備えて広々としたリア

リアシートは160mmまでの長さ調節と11–29度まで2度刻み10段階の調節位置を備えます。リアシートをカーゴポジションにしてバックレストをほぼ垂直にするとラゲッジコンパートメント容量は先代モデルより100リッター増加します。さらにスペースが必要な場合は、バックレストを前方に倒し、フラットなローディングフロアとして最大限に利用すると、770–1,710リッター(カイエンターボは745–1,680リッター)までラゲッジコンパートメント容量を調節することができます。14way電動調節付コンフォートシートもオプション装備され、シートヒーターの装着も可能です。

コンフォートアクセス機能によってラゲッジコンパートメントに簡単にアクセスすることができます。リアバンパーの下で足を少し動かすとテールゲートが自動的に開きます。安全上の理由から、この機能は同時に車両キーを認識した場合にのみ作動します。コンフォートアクセスによって、キーレスによる車両のロック/アンロックとエンジンの始動もできます。

日常使用への適合を保証する広範な装備の一環として、カイエンは、日常走行のための実用的な収納スペースを提供します。新世代カイエンは、さまざまな収納スペースを標準装備しています。フロントドアの3.9リッターの収納ボックスには1.5リッターまでのボトル、リアドアの1.9リッターの収納ボックスには1リッターまでのボトルをそれぞれ収納することができます。7.8リッターのグローブボックスに加えて、センターコンソールは、デザインに応じて2.1–4.2リッターの収納を備えます。

新機能：防音断熱ラミネートガラス

乗員全員の快適な走行条件を保証する快適性の向上がニューカイエンの主なメリットのひとつです。各モデルに車内のヒートアップを抑える断熱ガラスが標準装備されます。これはエアコンシステムの使用を減らし、車内への異音や隙間風の侵入も低減します。

新しいオプションが防音断熱ラミネートガラスです。これは赤外線を反射して、強い日射による車内のヒートアップを抑えます。ラミネートガラス内の新しい音響フィルムの使用によって次の3つの主要エリアを改善します。

- 有害な紫外線をほぼ100%遮断します。これは乗員の健康を守り、特に日差しの強い地域において車内の耐用年数を向上させます。
- 新しいラミネートガラスは車外からの異音を効果的に抑えて車内を静かに保ち、濡れた路面を通過する際のノイズをほぼ完全に吸収します。新しい音響フィルムの減衰効果はエンジンサウンドを維持するように設計されています。
- ガラス間のフィルムによって、ラミネートされた安全ガラスが粉碎されても形状を維持し、盗難に対する保護性能を高めます。

オプションのプライバシーガラスとサンシェード

ポルシェはカイエンのオプションとしてプライバシーガラスを用意しています。これを装備すると、リアウインドウを含むBピラーより後方の全てのウインドウがダークカラーに着色されます。着色した一枚ガラスのプライバシーガラスが可視光線を20%以下に抑え、後席の乗員と荷物を外部の視線から保護します。プライバシーをさらに高めるために、オプションのリアサイドウインドウ用電動サンシェードで補完することもできます。プライバシーガラスと防音断熱ラミネートガラスの組み合わせも可能です。

広さの感覚を強化するパノラミックルーフシステム

強化されたパノラミックルーフシステムがニューカイエンにオプション装備されます。先代モデルと比べてルーフシステムがさらに前方に配置され、乗員全員の広さの感覚が強化されています。パノラミックルーフシステムは、合計0.67m²の広さの2枚のガラスエレメントで構成されており、フロントセクションはスライド/チルトサンルーフ、リアセクションは固定ルーフです。ダークカラーのガラスが有害な紫外線を95%以上カットします。必要に応じてボディカラー同色塗装のロールアップサンシェードによってさらに日射を抑えることができます。

インフォテイメントとコネクティビティ

あなた個人のカイエン

ニューカイエンは、インテリジェントビークルに向けて大きな一歩を踏み出します。車内においても車外との連絡においても、ネットワークテクノロジーは数え切れない新機能を生み出し、新たな品質基準に到達しています。これらの機能は操作が簡単で直感的です。Porsche Connectによって、ドライバーはインターネットと広範なサービスに連続的にアクセスすることができます。これと並んで新開発または再開発されたアシスタンスシステムはドライバーの負担を軽減します。

ポルシェ アドバンストコックピットを備えたカイエンは、ドライバーと車両の間に新しいタイプの対話を提供します。このシステムは、パナメーラ用に開発されてカイエンのために見直しされたスポーツカーのディスプレイ・操作コンセプトに基づいています。メータパネルは、ポルシェの伝統的なレブカウンターとその両側に7インチディスプレイを備えます。ドライバーは、ポルシェ コミュニケーションマネージメントシステム (PCM) のフルHDタッチディスプレイ、オンボードコンピューターを制御するマルチファンクションステアリングホイール、そして選択した機能と対話するセンターコンソールのタッチセンサー方式ダイレクトタッチコントロールという3つのコアコンポーネントを使用して全ての主要機能を制御することができます。

インテリジェントなコントロールセンターとしての新しいPCM

12.3インチのPCMディスプレイはタブレット端末に似ています。システムは個人の好みに合わせて直感的かつ容易に操作されます。あらかじめ設定したタイル表示を使用して、お気に入りのラジオ局、ナビゲーションの目的地、よく利用する電話番号、あるいはスポーツエグゾーストシステムの作動オプションなど、好きな機能による「ホームページ」を簡単に作成することができます。その他のPCM機能へのアクセスは、画面右側のインフォ・ウィジェットで選択します。例えばナビゲーション機能は画面中央の対話エリアに表示され、電話機能は右側で使用します。6つまでの個人プロフィールの設定が可能です。プロフィールは、多数のインテリア設定に加えて、ライト、走行プログラム、アシスタンスシステムの好みを保存することができます。

数回のタップとスワイプでメニューをナビゲートできます。新しいPCMは触れる前に反応します。画面に手を近づけると画面左側のコラムが開き、現在のメニューのサブ機能が表示されます。スマートフォンやタブレットのように指先でスワイプするとオプションをスクロールできます。新しいPCMは、拡大縮小や回転も2本の指で行えます。手書き文字も識別するのでナビゲーションの目的地を画面に書き込むことも可能です。

カイエンとカイエンSにはHiFiスピーカーシステム、カイエン ターボには新しいBOSE®サラウンド サウンドシステムが標準装備されます。14個のスピーカーと単独のサブウーファー、14チャンネルアンプと出力710Wを備えたシステムが、5つの全てのシートに鮮やかなサウンドを提供します。Centerpoint® 2テクノロジーがサラウンドモードでステレオソースを再生して印象的なサウンドを生み出します。AudioPilot®ノイズ補正テクノロジーによって、車両の負荷やエンジン回転数に関係なくサウンド体験を楽しむことができます。BOSE® SoundTrue®強化テクノロジーは、MP3ファイルなど、圧縮音楽ファイルの失われた高周波領域を回復して鮮明で臨場感あふれるサウンドを提供します。

トップエンドは、新しいAuro 3D®フォーマットを備えた最新バージョンのBurmester® 3Dハイエンド サラウンドサウンド システムで、車内に実際のコンサートホールの雰囲気を生み出します。出力1,455Wのシステムには、2wayセンターシステムを備えた21個のスピーカーと400Wのアクティブサブウーファーが含まれます。このトップエンドのシステムには、多数の強化機能とともに、Burmester®エアモーショントランスフォーマーやSound Enhancer®などの上級テクノロジーが採用されています。Auro 3D®フォーマットは、自動車部門全体のサウンド体験に大変革をもたらします。音楽再生において世界的なベンチマークを設定するBurmesterは、Galaxy Studiosと協力して音楽再生中に完璧な3Dサウンドを実現する特別なアルゴリズムを開発しました。Auro 3D®テクノロジーによってあらゆる音源からダイナミックな3Dサウンドを生み出すことができます。

コネクトプラスによる新しいアプリとサービス

ニューカイエンは、完全に接続およびネットワーク化されています。幅広いネットワークのオプションがボルシェ コネクトプラスインフォテイメントパッケージの一部としてこの新世代SUVモデルに標準装備されています。これにより、ドライバーは初めてAmazon Music、Nestによって提供されるスマートホーム機能、従来のラジオとオンラインラジオをインテリジェントに組み合わせたラジオプラスなどの全てをボルシェ・コミュニケーション・マネージメントシステム (PCM) を介してアクセスすることができるようになりました。ニューカイエンは、LTE対応のSIMカード内蔵によって常時オンラインに接続されています。また、ポ

ルシェはコネクテッドカー用の主な機能のために使いやすいスマートフォンアプリを開発しました。最も人気の高いストリーミングサービスのAmazon Musicを、カイエンのPCMから直接利用することもできます。ドイツでは豊富に用意された曲の選択に加えて、サッカーのブンデスリーガのオーディオライブストリーミングなど、その他のエンターテインメントサービスも提供されます。

また、Nestによるスマートホームデバイスのユーザーもいつでも車の中で家の情報を得ることができます。このサービスでは、煙感知器のデータや設置されたカメラの映像をインターネットで送信します。また、部屋の温度を車両の中から直接調節することも可能です。

もうひとつの画期的なサービスにはラジオプラスです。このサービスは、内蔵されたインターネットラジオ機能を利用することによって、聴きたいラジオ局がオンラインラジオチャンネルを開設していれば自分の好みのラジオ局を無制限に楽しむことができます。

カイエンがFMやデジタルラジオなどの地上波の受信圏外に出ると、このシステムは自動的にオンラインストリーミングに切り替わります。こうして電波を受信しづらい地域でもラジオの受信感度を高めまします。ポルシェは、Amazon Musicストリーミングサービス、オンラインラジオおよび車両のWi-Fiホットスポットを利用したネットサーフィンのために7ギガバイトのデータパックを提供しています。

スワームデータによるオンラインナビゲーション

リアルタイム交通情報を備え、機能が拡張されたオンラインナビゲーションはさらに使いやすくなり、より迅速なアクセスと総合的なサービスを実現しています。さらにシンプルになったナビゲーションの目的地設定はセントラルファインダーをベースにしている、これはPCMのヘッダーにある虫眼鏡のアイコンをクリックすることによってアクセスできます。これによって、簡単な単語を使って目的地を検索することが可能になりました。また、ファインダーは燃料価格、利用可能な駐車場や駐車料金、営業時間、ホテルやレストランのカスタマーレビューなど、幅広い追加情報を提供します。

ナビゲーションの目的地を音声入力する機能も「ボイスパイロット」によって楽に検索ができます。ポルシェのボイスコントロールはさらに強化されました。オンライン音声認識により、ボイスコントロールは以前にも増してより直感的に利用することができます。例えば、特定の住所なしにナビゲーションの目的地を入力することが可能になりました。

ボイスパイロットでコントロールできるのはナビゲーション機能だけではありません。このシステムはナビゲーションの機能から音楽のコントロール、そしてエアコンディショナーやシートヒーターなどの車両の機能まで、合計100以上のコマンドを理解します。

ルート計算も最適化されています。これはオンボードとオンラインの入力を同時に処理することによって可能になりました。そのため、ナビゲーションのルート案内はオンライン上とPCM内部の両方で実行されます。PCMは独立してどのナビゲーションシステムが最適なルートを計算したかを決定する一方で、常に最も早く計算された結果からスタートします。

また、ナビゲーションシステムは新しいRisk Radarサービスによってスワームデータを処理します。交通と道路のコンディションに関するデータを匿名で取得し、同時に車両の関連機器から情報を送信します。車両のセンサーによってデータを捉え、霧や滑りやすい路面、事故などの警告を提供します。この機能によってニューカイエンは危険を緩和し、事故の防止に貢献します。PCMだけではなく、「My Porsche」オンラインプラットフォームを介して車外からもスマートフォンのポルシェ コネクトアプリを使ってドライブを始める前に目的地を簡単に作成することができます。ポルシェIDを車両、アプリおよびウェブポータル「My Porsche」に入力することでドライバーが特定されると、目的地が同期されます。

ワンストップソリューション：アップルおよびアンドロイドスマートフォン用の新しいポルシェ コネクトアプリ

再設計が施されたポルシェ コネクトアプリは、スマートフォンを通じて幅広い車両やコネクト機能にアクセスするための環境をドライバーにより単刀直入かつ総合的に提供します。このアプリには、「ナビゲーション」および「My Vehicle」の車両に関連する機能と、ユーザーのAmazon MusicやNestアカウントにコネクトアプリをリンクさせるなど、ユーザーに関連するサービスや設定に関連する「My Account」の3つの主要なエリアがあります。「My Vehicle」のエリアでは、自身の車両を3方向から表した表示によってドライバーはドア、テールゲート、ウインドウなどが閉まっているかを確認することができます。また、ドライバーはこのエリアからドアの施錠・解錠を行うことができます。車両の航続距離、オイルレベル、点検履歴などの情報もここで呼び出すことができ、車両の監視やセーフティ機能も制御することができます。ポルシェ コネクトの詳細につきましては、ホームページ(www.porsche.com/connect)やポルシェ コネクトストア(www.porsche.com/connect-store)をご覧ください。

新機能：オンロードとオフロードの5つの設定モード

新しいPCMは、カイエンの全てのドライビングダイナミクスシステムのコマンドセンターとしても機能します。最も重要な変更は、各種のオフロード設定をセンターコンソールの個々のスイッチではなく画面の専用メニューで選択します。このメニューには新たに設定された5つのオフロードモードが各状況を背景に3Dで表示されます。コントロールシステムは、選択に応じてエンジンのアイドリング、ティプトロニックSの切り替えプログラム、4WDシステムのPTM、リアアクスルのトルク配分、およびPSM安定化プログラムを調整します。装備されている場合は、最低地上高を含むエアサスペンション、PASMダンパーシステム、PDCCロール安定化システム、およびリアアクスルステアリングもオフロードプロファイルに合わせて調整します。

車両はロードユースに標準設定されています。砂利道や湿った草原などのオフロード地形に差し掛かった場合は、「グラベル」モードを選択します。森の泥道や深いわだちのある道では「マッド」を使用します。「サンド」や、岩だらけの不整地用の「ロック」も用意されています。オプションのオフロードパッケージと組み合わせると、オフロード走行時に最大限に車両を利用するための操舵角、横断勾配、前後傾斜もメニューに表示されます。サラウンドビューが装備されている場合はトップビュー機能で車両を俯瞰表示することができます。

アシスタンスシステム

総合的なシステムが快適性と安全性を向上

リアビューカメラとサラウンドビューを備えたパークアシスト

ニューカイエンは、3つのレベルのパークアシストシステムによって日常走行をサポートします。標準装備されるフロントとリアのパークアシストは、駐車時に視覚情報と警告音でドライバーに知らせます。システムはフロントとリアの超音波センサーを使用します。オプションのリアビューカメラを装備すると、PCM画面にカメラのカラー画像とともにダイナミックサポートラインと障害物までの距離が表示されます。サラウンドビューを装備すると、4つの独立したカメラで360°ビューを表示して駐車操作を助けます。PCM画面のカメラ画像の解像度が約2倍になり、さらに鮮明になっています。

スタート&ゴー機能を備えたアダプティブクルーズコントロール

カイエンはスピードリミッター機能付クルーズコントロールを標準装備し、走行速度と車間距離の調節を助けます。システムは30–240km/hで作動します。オプションのアダプティブクルーズコントロールは機能の範囲を大幅に広げます。このシステムは、センターエアインテークの中央に取り付けたレーダーセンサーと車両カメラを使用して前方車両との距離をモニターして車間距離を自動調整します。車両前方に他の車線から車線変更してくる車も検知し、必要に応じて前方車両の速度に合わせてブレーキをかけて最終的には停車します。可能な限りコースティング機能を使用して燃費を低減し、特に車の流れが遅い時に優れた走行快適性と安全性を提供します。アダプティブクルーズコントロールの自動車間距離制御は30–210km/hの走行速度で作動します。

スタート&ゴー機能によって車両が停止しても自動発進します。3秒以上停車した場合は、アクセルペダルを軽く踏むかコントロールレバーでリスタートすると発進します。

カイエンに組み込まれる停止距離削減システムも衝突の回避や衝突速度の低減を助けます。このシステムは前方車両に近づくのが速すぎると警告表示と警告音で知らせます。その後ブレーキを振動させます。ドライバーがブレーキをかけたときは必要に応じてフルブレーキまで増大させます。ドライバーが反応しないときはシステムが自動的に緊急ブレーキをかけます。このとき、サイドウィンドウとパノラミックルーフシステムは自動的に閉まります。運転席側と助手席側のシートベルトテンショナーも作動し、同時に後方から近づく車にハザードランプで知らせます。

電子制御コパイロットのイノドライブ

アダプティブクルーズコントロールを含む新しいポルシェ イノドライブは特に独創的な装備で、システムは、ナビゲーションデータに基づいて次の3kmの最適な加速値と制動値を計算し、エンジン、ティプトロニックS、およびブレーキシステムを介してこの設定を適用します。そのために、この電子制御コパイロットは、コーナー、勾配、および最高速度を考慮します。レーダーとビデオセンサーを使用して現在の交通状況を検知し、それに応じて制御プロセスを調整します。ポルシェで開発されたイノドライブシステムは燃料効率を改善し、ナビゲーション予測データに基づいてコースティング、トレーリングスロットルフューエルカットオフ、ブレーキングなどの車両機能を制御します。

ポルシェ イノドライブは、快適性とダイナミクスにも大きなメリットをもたらします。システムは円形交差点を認識し、その条件に合わせてあらかじめ走行速度を調節します。スポーツモードの作動時には、イノドライブもダイナミックなマップに切り替わります。レーダーとビデオセンサーは、統合されたアダプティブクルーズコントロールシステムを使用して前方車両との距離をモニターし、連続的に調節します。

予測的歩行者保護

カイエンに初めて予測的歩行者保護システムが標準装備されます。このシステムは、歩行者やサイクリストが衝突エリア内に入ると警告表示と警告音で知らせて歩行者との衝突の危険を低減します。そのためにフロントカメラからの信号を分析し、車両が人の方向に速く移動しすぎている場合はブレーキをかけます。その後ドライバーがブレーキを踏むと完全に停車します。ドライバーが反応しない場合はシステムが自動的に緊急ブレーキをかけます。

交通標識識別を含むレーンキーピングアシスト

高速走行時の車線変更は日常走行において最も危険性の高い操作のひとつです。オプションのレーンキーピングアシストはカメラで車の位置をモニターしてドライバーが合図なく車線を離れようとするときステアリングをサポートします。レーンキーピングアシストは特に長距離走行時の快適性と安全性を大幅に改善します。ステアリングのアシストに加えて、警告音やメータパネルへの警告表示をPCMで設定することもできます。システムは65–250km/hの走行速度で作動します。

レーンキーピングアシストは交通標識識別テクノロジーを備えます。交通標識識別は同じカメラを使用して、通常の数値制限、一時的な速度表示、追い越し制限、地名表示などの間接指示を検知します。状況依存する交通標識識別テクノロジーは、その他の車両システムも使用します。例えばレーンセンサーがウェットコンディションを検知すると、速度制限表示システムはこれを考慮して天候に関連した速度制限を表示します。

リアターンアシスト付レーンチェンジアシスト

最新の強化されたレーンチェンジアシストは、レーンキーピングアシストの補助としても使用されます。システムはレーダーセンサーを使用して近接車線の後方車両の距離と速度を検知します。距離と速度が車線変更に危険と推測される場合は、左右のドアミラーに警告を表示します。システムは15–250km/hの走行速度で作動し、70m以内の車両を検知します。ニューカイエンにはリアターンアシストも装備されます。このシステムは、ジャンクションに近づいたときに車両の死角に物体があると警告表示します。ターンインジケーターを作動するとレーンチェンジアシストが作動する速度に達するまでリアターンアシストがドライバーを助けます。

熱探知カメラを備えたナイトビジョンアシスト

ナイトビジョンアシストは、インテリジェントな熱探知カメラを使用して夜間の走行時に人や動物を検知し、その存在と位置をドライバーに警告します。システムは300mまでの距離で作動し、電子システムは熱源を分類して動物とエンジンが冷えていない駐車バイクなどを区別することができます。ナイトビジョンアシストは歩道の飼い犬などの誤り为了避免するため密集エリアでは解除されます。オプションのLEDマトリックスヘッドライトが装備されている場合は、検知された人や動物がターゲットライトによって照射されます。

アダプティブマトリックスヘッドライトを備えた新しいLEDライトシステム

ポルシェはニューカイエンに最先端のライトテクノロジーを装備します。全モデルのヘッドライトとテールライトに最新のLEDテクノロジーが使用されています。カイエンとカイエンSにLEDヘッドライトが標準装備され、カイエンターボにはポルシェ・ダイナミック・ライト・システム(PDLS)を組み込んだLEDヘッドライトが標準装備されます。ポルシェ・ダイナミック・ライト・システムプラス(PDLS Plus)を組み込んだLEDマトリックスヘッドライトが新しいトップエンドのオプションになります。このシステムはアップストリームレンズやリフレクターと連動する84個のLEDによるライトビームと、前方車両と対向車両を検知するカメラで

構成されており、カメラの情報を使用して対向車の眩惑を回避するようにハイビームの光線を制御します。特にハイビームの点灯時に、対向車線のロードユーザーに影響を与えることなく道路前方を常に最適に照射することが可能になります。

複合ヘッドライトモジュールは、カメラデータ、ナビゲーションデータ、および車両ステータスに基づいて柔軟に独立制御される複数のコンポーネントで構成されています。インテリジェントなビーム配分によって、走行快適性と安全性を高めるその他の機能が統合されます。例えばシステムは反射しやすい交通標識を検知し、眩惑を避けるためにその標識を選択的に照射しないようにします。インテリジェントなライトシステムは対向車のための特別な設定も備えます。ブースト機能は、照射範囲内の対向車に向かうビームを消灯しながらドライバーの車線の照射を強めて視界を確保し、快適性と安全性を改善します。